2019 年　12 月　14 日

日本の海岸線を歩く会　歩行報告書

報告者 友野晴夫

1. 概　要

歩行名称にはブロック名（会則に記載）と概略歩行区間を記載する

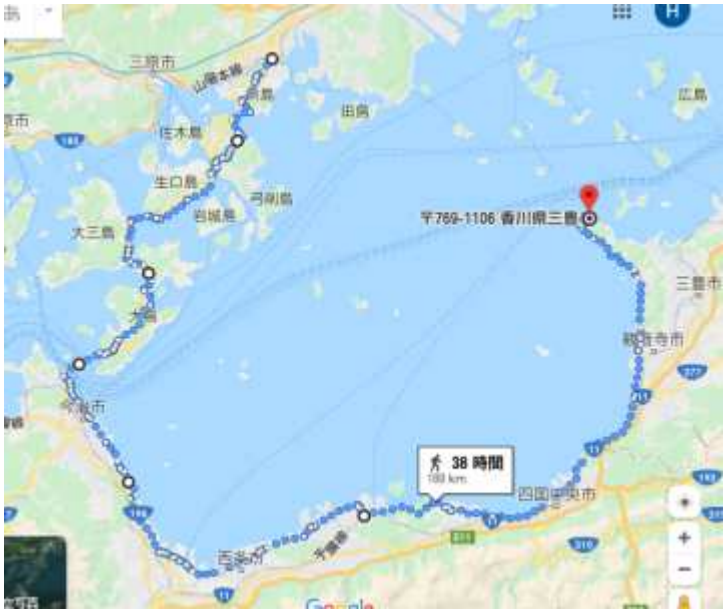
歩行名称	四国 1
歩行区間詳細	スタート地点：尾道大橋（広島県尾道市尾崎バス停）
	ゴール地点：箱漁港（香川県三豊市箱バス停）
実施期間	2019 年 11 月 4～9 日
全歩行距離	186　Km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏　名	年齢	歩行日数	備　考
1	L	友野　晴夫	65	6 日	

3. 歩行の概要

	月日	出発地　～　到着地	歩行距離	歩行参加者	備　考
1	11/4	尾道大橋　～　赤崎フェリー乗場	22km	友野	尾道駅より歩行開始
2	11/5	赤崎フェリー乗場　～　亀山バス停	33km	友野	
3	11/6	亀山バス停　～　伊予三芳駅	31km	友野	
4	11/7	伊予三芳駅　～　多喜浜駅	31km	友野	
5	11/8	多喜浜駅　～　箕浦駅	35km	友野	
6	11/9	箕浦駅　～　箱漁港	33km	友野	



4. 参加費

参加者延べ日数　　6 日×1 名)＝6 日　　参加費合計　600 円

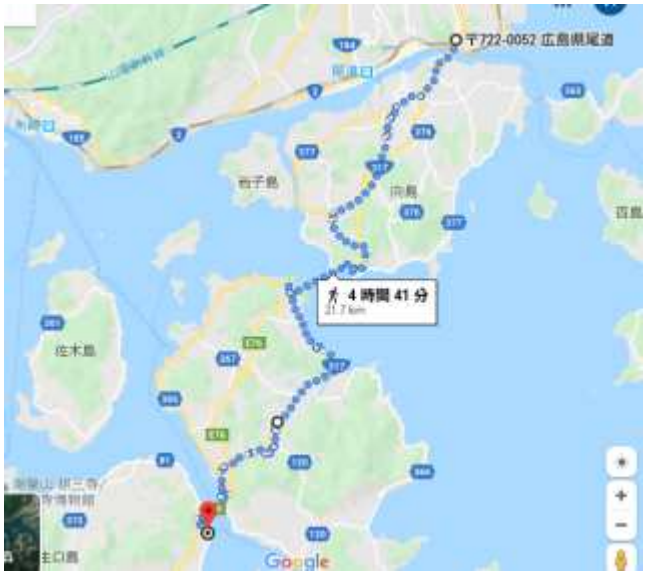
5. 歩行の詳細

前日　11/3、

2105　新宿発　高速夜行バス、1170 円　で　尾道駅前まで行く

1日目・11/4　尾道大橋・尾崎バス停～生口島・赤崎フェリー乗場　(22Km)

天気:晴れ



740　尾道駅着

820　尾道駅発

850　尾道大橋、尾崎バス停、**山陽道との分岐点、四国 1 の歩行開始地点**

850　尾道大橋北

910　尾道大橋の南休憩所

930　向島市街

1100　因島大橋北

1130　因島大橋南

1230-1250　回転ずしで昼食

1300　村上水軍城

1400　生口島大橋

1430　赤崎フェリー乗場、本日の歩行終了

1540　因島の民宿、満寿美荘、2 食付き 6380 円

【しまなみ海道の島と橋】　・・・　6つの島と 7 つの橋を行く

尾道＝尾道大橋(385m)＝向島(むかいじま)

＝因島大橋（1270m）＝因島（いんのしま）
＝生口橋（790m）＝生口島（いくちじま）
＝多々羅大橋（1480m）＝大三島（おおみしま）
＝大三島橋（328m）＝伯方島（はかたじま）
＝伯方大島大橋（1165m）＝大島
＝来島海峡大橋（4015m）＝今治

久しぶりに尾道駅に着く。
尾道は今回で 3 回目となる。過去 2 回は家族キャンプ旅行と自転車旅行であった。

駅から尾道城が見える。

支度をして、トイレをすませ、尾道大橋へ約 2Km を海岸沿いに山陽道を東へ歩き始める。

尾道大橋と山陽道の分岐点は、尾崎バス停であった。
スタート地点の証拠写真を撮る。

ここから山陽道を離れて、大橋への登り道路を 5 分ほど歩くと、大橋への歩道階段が現れる。
これを利用して大橋に登る。サイクリング道と兼用の歩道が橋の両脇にある。

橋は高いので眺めが良い。
橋を渡るとパーキングエリアがあり、トイレもある。

道は向島の内陸に入り、しばらく島内の商店街を行く。島は昔から人の暮らしがあった様子だ。

これを過ぎると、みかん畑やイチジク畑が見渡せる。
内陸の道はだんだん登坂となり、つぎの因島大橋への高みに到着するようになる。

因島大橋は、自動車用と歩行自転車用の 2 段橋である。
下段が歩道とサイクリング道である。

約2Km と長かった。下の海を行く船に危険が無いように、物を落とさない様に、厳重に金網がある。

対岸の因島側は砂浜のきれいな海岸であった。
振り返ると因島側から橋がきれいに見えた。

しばらく因島の東海岸を歩き、再び島の内陸に入る。
昼飯時になったので、回転すし屋に入った。
イクラ、ウニ、カキなど食べてた。
お腹がすいていたので大変美味しかった。
さすが広島県ならでは、茹でたカキの寿司は美味しかった。

すし屋の少し先の道を、右手に山を登る日を 10 分で、村上海賊の因島城についた。

城内入口で写真を撮った。
城の見学は登りもきつく、時間がかかりそうなので割愛した。

付近はレモン畑、ミカン畑でいっぱいだ。
これより峠道となり、歩道のない危ないトンネルを、スマホのライトをつけて潜り抜けた。
海岸に出た道路で、「今治から歩いて 2 日です。サイクリングの人ばかりで、歩いている人（あなた）にあったのは 2 日目にして初めてです」というリュックを背負った、私と同じような歩行者に出会った。お互いに健闘を称えあって別れた。

次に橋入口の西側の急な道路をつたって橋の北端に取り付いて、今日 3 つ目の生口大橋を渡った。

今日は 3 連休の最終日でサイクリングの人が多く渡っていた。ここも天気が良く、眺めが最高でした。

橋を降り、生口島に渡り、今日のゴール目的の赤崎港に着いた。

今日泊まる民宿は、生口島の赤崎港からフェリーで 4 分で渡れる因島の金山港の近くなため、フェリーで戻る予定だった。しかし、このフェリーは日曜祝日は運休であった。しかたなく 40 分ほど戻って、橋を再度渡って因島に戻り民宿についた。

民宿、満寿美荘は建物は古いが、風呂は岩風呂で豪華、夕食はメバルの煮つけや、マグロでない美味しい刺身がでて大変美味しく正解でした。

2日目・11/5　生口島・赤崎フェリー乗場～大島・亀山バス停 （33 Km）

天気：晴れ

720　金山フェリー乗場
730　赤崎フェリー乗場、歩行開始
830　光明坊
1000　多々羅大橋
1030　道の駅
1130　大三島大橋
1220-1240　伯方島、道の駅で昼食
1300　大島大橋
1400　宮窪、かぶらぎ荘、荷物を置く
1530　亀山バス停、歩行終了
1540　亀山バス停発、バス　280 円
1410　大島営業所バス停着、民宿かぶらぎ荘、朝食付き 5500 円

民宿前の金山港からフェリー（4 分、80 円）で赤崎港まで行く。

フェリーは橋ができる前からの住民の通勤、通学、買い物の足である、と
フェリーの船長さんと話をする。

フェリーは車も自転車も乗れるので便利である。
平日は橋の通行料金よりも安い、とのことです。

赤崎港から歩行スタート。
ほぼ快晴の中を、しばらく生口島の南東海岸を行く。

天気が良く、青い海がきれいだ。近くにも小島が多数、浮かんでいる。まさに「瀬戸の花嫁」が聞こえてくる風景だ。
ミカン畑に落ちている、新鮮なミカンを食べながら歩く。

１日経って、夜行の初日よりも体調が回復して、歩行も快調だ。
やがて多々羅大橋を渡る。
橋も海も景色がきれいで、本歩行の最高に良いコース、一番いい橋・・・でした。

橋の反対側である大三島に道の駅があり、そこで休む。

多々羅大橋の全景が見渡せる景勝地だ。しまなみ海道の観光地だ。貸自転車などがある。

ここから大三島の東岸を行く。
周囲にも小島がたくさんあり、次々と風景が変わって楽しい。

やがて甘崎城跡のある古城島の沿岸に来た。
車いすのお爺さんいたので、話を聞いた。
大引き潮のときは、歩いて古城島に渡れるそうだ。

次の大三島橋へは、内陸からサイクリング道を徐々に登る道を歩く。
伯方島（はかたじま）は、しまなみ海道では一番小さい島で歩く距離が最も短い。

ここにも道の駅があり、サイクリング者が大勢昼飯を食べていた。
私も鯛茶漬け定食を食べた。

今日の最後の橋である伯方大島大橋に登り、しまなみ海道の 6 つの島の最後の島である大島に渡った。
眺めの良い大島の東岸を歩くと海が渦を巻いているような、

海峡に流れがあるような、複雑な波の景色が見られた。

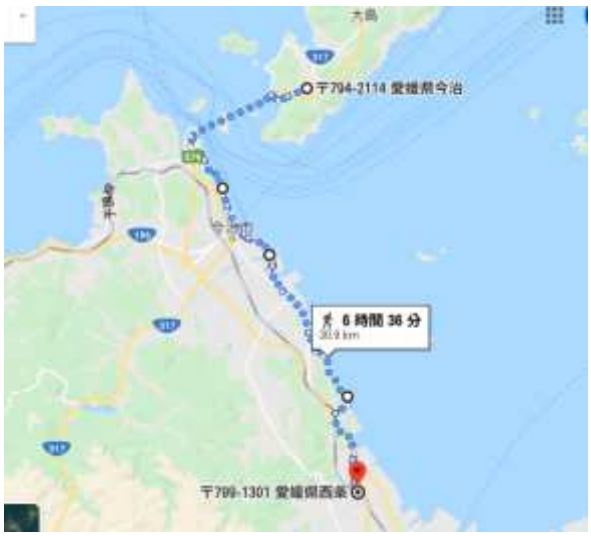
宮窪の街につき、早めについたので、今日泊まる予定の民宿に荷物を置いてさらに先を歩いた。
大島の内陸に入ると石切り場があり、石切り工芸の名産地の様子であった。

宮窪峠を越え、大島の最大の街である吉海のコンビニで、今日の民宿は夕食なしのため、今日の夕食を買った。（民宿の街はレストランやコンビニなしの情報を、民宿の女将さんから聞いた）
バス道を亀山バス停まで歩き、今日の終点とした。

バスで宮窪まで戻り、素朴な民宿かぶらぎ荘に泊まった。

3 日目・11/6　大島・亀山バス停～JR予讃線・伊予三芳駅 （31 Km）

天気：晴れ



720　大島営業所バス停発　バス　280 円
740　亀山バス停、歩行開始
800　下田水、道の駅
830　来島海峡大橋東
930　来島海峡大橋西
1000　砂場港、　**四国一周した時の歩行の終了予定地点**
1100　今治城
1130-1200　今治、　すき屋で昼食
1300　綱敷天満宮
1330　桜井港
1430　虎が鼻
1540　伊予三芳駅
1551　伊予三芳発　JR線　210 円
1600　壬生川駅着
1610　ホテルトレンド西条、素泊り　4300 円

民宿で女将さんと話をしながら朝食を食べ、700 に出る。民宿のすぐそばのバス停（大島営業所）から 720 発今治行きのバスに乗る。バスは今治市内の高校に通学の、高校生でいっぱいだ。

亀山バス停で降り、歩行を開始する。小さな峠を越えると、しまなみ海道で最長の来島海峡大橋が見えてくる。

峠を下り、道の駅でトイレ休憩。
橋にのぼるループ式のサイクリング道を行く。

来島海峡大橋が高く眺めがよく最高だ。
途中の島にエレベータが設置されていてトイレもある。

長い橋を渡りきると四国に入った。

四国一周の終点はこの橋のたもとである砂場港と決めた。
砂場港からはほぼ海岸線沿いに道があり、来島大橋を振り返りながら歩く。

やがて今治市内に入り、今治城の前を通過する。
今治城は立派な城である。
城からはしばらく内陸の道を進むと、今治サイクリングロードに出会った。

松林の中の快適な道である。

途中、綱敷天満宮に立ち寄る。
ここは菅原道真が太宰府へ船で行く途中に嵐の折に立ち寄った場所との史跡だ。
さらに進んで桜井港に着く。公園やスポーツ施設があった。

桜井総合公園を過ぎ、虎の鼻の小さな岬を過ぎて、内陸に入り、しばらく国道を進む。

最後は畑の中の道を進み JR予讃線の伊予三芳駅に到着し、歩行を終了した。

電車で１つ先の壬生川（にゅうがわ）駅に行き、予約したホテルに到着。
夕食は近くの中華料理屋で定食を食べた。

4 日目・11/7　JR予讃線・伊予三芳駅～JR予讃線・多喜浜駅 （31 Km）

天気：晴れ

615　ホテル発
633　壬生川駅発、 IR線　210 円
640　伊予三芳駅、歩行開始
800　住友壬生川」火力発電所
930　新加茂川大橋
1030-100　レストラン・ガストで昼食
1100　西条市街
1230　濁井川の橋
1330 新居浜商店街
1430　垣 生海岸
1510　多喜浜駅着、歩行終了
1527　多喜浜駅発、 JR線　210 円
1540　新居浜駅着、 ホテル東横イン　朝食付き 5500 円

朝食は、ホテルの部屋内でコーヒーとサンドイッチで軽く済ませ、
壬生川駅から伊予三島駅に行く。
電車は高校生の通学電車だった。

伊予三芳駅から歩行をスタート。
今日も天気が良く前方に石鎚山が良く見える

小さな小川を渡り、畑の中を細い道を海岸方面へ斜めに行く。

石鎚山

途中、大きな煙突のある住友壬生川火力発電所前で休憩する。
西条市に入り、しばらく国道を行く。平日なのでトラックが多い。
中山川の大橋を渡る。

次に加茂川の橋を渡り、続いて新加茂川大橋を渡る。
この付近は海岸道路が少なく、工業地帯らしく、しばらく国道を行く。
西条市街はレストランが多い。

昼食はすき家に入り、うなぎ丼を食べる。
ちょっと油っぽかったせいか、少々苦しくなり、バス停のベンチで休憩する。

日差しが暑い！

工業地帯の産業道路で道は広い、歩道もしっかりしている。
住友金属系の会社、工場が並ぶ。

渦井川を渡り新居浜市に入り海岸を目指す。
新居浜商店街は呉服屋、布団やなどが多く繊維工業の町という感じである。

国領川の新高橋を渡り海岸のサイクリング道に出た。
散歩の人と話をする。尾道から歩いてきました、と言ったらビックリされた。

生垣海岸で瀬戸内の眺めを満喫して、少し内陸に入り多喜浜駅に向かう。
多喜浜駅から1つ駅を戻り新居浜駅前の東横インに泊まった。

新居浜駅 （初めて‥、当たりまえ‥、やはり感動！！！）

付近に食堂がないため、駅前の大型スーパーで食材、ビールなどを買った。

4 日目・11/8　JR予讃線・多喜浜駅～JR予讃線・箕浦駅 （35 Km）

天気：曇りのち晴れ

733　新居浜駅発、 JR線　210 円

740　多喜浜駅、 歩行開始

830　多喜浜海岸

930　西の山峠

1030　西の江

1100　土居町

1130　ローソンで昼食

1230　豊田浜

1330　寒川港

1400　三島運動公園

1500　川之江城下

1620　箕浦駅着、歩行終了

1635　箕浦駅発、 JR線　210 円

1645　川之江着

1700　四国セントラルホテル、　素泊り 3900 円

東横インの朝食は 7 時からなので、それを待って朝食をする。
朝食後、そのままチェックアウトし、新居浜駅から多喜浜駅に電車で移動する。

多喜浜駅から国道と JR の間の旧道の様な並行した歩きやすい道を行く。
平日の朝なので自転車通学の中高生が多い。海岸に出ると今日は、天気が悪く曇りがちで波も洗い。

新居大島が目の前に見える。釣りの人がいる。海岸は束の間で、国道の峠道に入る。登りが長く少々きつい。
西の山（244m）の西側の峠に登ると標高が 150mぐらいで高く景色が良い。

蛇行した国道を少し下り、山道の近道を探して仏崎の海岸に降りる。

人気が少ない海岸付近の道（土居町）をしばらく進む。
関川の河口があるところで内陸に入り、藤崎橋を渡る。

この先レストランがありそうもないので、カウンター席のあるコンビニに入り
早めの昼食（パスタ＆ホットコーヒー）をとり大休止する。

再び海岸に出ると砂浜があり快適そうなので腰をおろして昼寝をする。
天気が良くなり晴れ、暑くなる。 海岸沿いにきれいな公園がある。

愛媛県立四国中央高等学校書道部部長役の成海璃子が主演の映画「書道ガールズ」のロケ地の看板を見る。

ここは四国中央市、製紙、紙加工業において日本屈指の生産量とのこと。
遠くに伊予三島の町にある製紙工場（大王製紙）の 3 本の煙突が見える。

伊予三島に入り大王製紙の大きな工場街の中を通る。
今日は川之江までの予定であったが時間に余裕がありそうなので
1 駅先の箕浦駅まで急遽、歩くことにする。
小高い山の上の川之江城を右に見る。

川之江からの国道沿いの道は歩道が狭く歩きにくい。

しかし午後の海は青くきれいで小島がちらほら見え良いところだ。
明日行く庄内半島の山々も見え歩行意欲をそそる。

海岸べりの情緒ある箕浦駅について、1 駅戻り川之江駅で降り、10 分ぐらいでホテルに着く。

ここも付近にレストランがなく駅の近くのスーパーで食材を買い出し、夕食、朝食とする。

6 日目（最終日）・3/9　JR予讃線・箕浦駅～荘内半島・箱漁港 （33 Km）

天気：晴れ

638　川之江駅発、　ＪＲ線　210 円
645　箕浦駅、　歩行開始
750　豊浜、一の浜海岸
910　琴弾公園
1050　曽保みかん販売所
1130-1200　仁尾、うどん屋で昼食
1230　仁尾北
1330　大浜
1430　生里
1520　箱漁港、　四国１の歩行終了
1548　箱バス停発、　コミュニティバス　100 円
1634　宅間駅着
1709　宅間駅発、　ＪＲ線　380 円　多度津乗り換え
1750　丸亀駅着
　　駅前の食堂で夕食
2005　丸亀バスターミナル発、　高速夜行バス　10400 円

11/10、　640　横浜駅着

即席みそ汁と稲荷ずしで朝食。
川之江駅から箕浦駅へ移動する。
箕浦駅から歩行を開始する。今日も天気が良く、瀬戸内の海岸はきれいだ。

しばらく海岸沿いの国道の歩道を歩く。
豊浜港を過ぎる。
芝生のあるきれいな一宮公園に着き、トイレ休憩。

砂浜の海水浴場もあり、この辺の瀬戸内の水はきれいだ。

観音寺市に入り、きれいな橋の新琴弾橋を渡る。

すぐに道の駅があり、土産物屋をみる。

琴弾山を右に、琴弾公園を左にみて北へ進む。
今日は土曜日なので、優雅に公園散歩する人も多い。

稲積山、404mを真正面に見ながらすすむ。

途中、魚の干物（アジではない？）が見られる風情のあるところを過ぎる。

トンネルのある海岸沿いの道を抜けると山の斜面にみかん畑がみえる。

曽保みかんの販売所に入り、今朝、取れたてのミカン５ｋｇ箱を家に宅配便で送る。
甘くて美味しいミカンであった。

父母が浜、という遠浅の砂浜海岸にくる。
カフェなどがあり観光スポット。

海面が静寂で反射風景（南米ボリビアの塩湖の様に・・）が売り物の様子でした。

仁尾大橋を渡り、仁尾の街に入る。
地元の手打ち讃岐うどん屋さんを見つけて昼食。
うどん屋さんの入り口には、ミカンがあり無料で、１つ頂く。

道は海岸沿いの登坂となって、人も車も少なくなる。
いよいよ庄内半島に入りカーブが多い。
高台からの海の眺めが良い。

丸山島

名部戸の街の海岸にある丸山島もきれいで、潮が引くと渡れる島だ。
風光明媚な海岸が多く、しまなみ街道とはまた違った景色があり楽しく歩ける。

大浜漁港に着く。
バス時間を確かめて 15 時ごろまで、行けるところまで行ってみることにする。

紫雲出山

バス道路は上り下りが多い。
途中、紫雲出山登山口を過ぎる。

紫雲出山は昨日、遠くからよく見えた。

素朴な生里漁港、仁老浜海岸を過ぎる。
休憩中に地元の人に話しかけられたので、今回の歩行の話、東京から来た話をする。
ここの地では、東京人は珍しいようである。

庄内半島の突端部分のバス通りを回り込み、北側の海岸線に出る。ここは浦島太郎の発祥の地、の様子だ。

下ると箱漁港に着いた。

これで今回の歩行を終了にする。

今回の終点・・・三豊市営バス・箱バス停

予定のバスに乗る。

乗客は私１人だったのでバスの運転手と話をする。

来年の「GW ごろにまた来ます」と約束をする。

バスからは、ちらほらと瀬戸大橋が見えた。

宅間駅前、浦島太郎がカメを助けている像

箱バス停から、バスで大浜町まで行き、ここででバスを乗り継ぎ、詫間駅に着く。
詫間駅からＪＲ予讃線で多度津駅乗り換えで、丸亀駅へ行く。
丸亀駅は、大きな街の様子で人が多かった。
駅前の食堂で、さわら塩焼き定食を食べる。

夜行バスで横浜駅まで行き、翌朝、横浜線で自宅に帰った。

感想：
天気が良くて、終始、景色が最高でした。
65 才になって、生まれて初めて 180ｋｍも歩きました。
歩き終わって、体調が良いことにびっくりしました。（歩くことは健康にすこぶる良いようです）
観光では行けないところに行くことが出来て、何気ない街で、多くの発見が出来ました。
国内でも、海外旅行で感じるような多くの喜びを感じました。
また行きたくなりました。